

- 問1 かつての植民地支配を受けた地域では、特定の農作物を大規模に栽培し、輸出に依存する産業構造が見られます。このような経済状況の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
1. 植民地支配から独立した後、急速な工業化を推し進めるために農地をすべて廃止し、製造業へ特化する政策がとられた。
 2. 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。
 3. 現地の自給自足を最優先にするため、主食となる穀物と輸出用の作物をバランスよく組み合わせて生産する体制が築かれた。
 4. 古くから伝わる伝統的な農法を守るため、外部からの新しい作物や技術を一切取り入れずに生産を続ける体制が築かれた。
- 問2 アフリカの多くの国々では、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済からの脱却が大きな課題となっています。こうした経済的自立や、地域内での紛争解決、社会的な発展を目指して、2002年にアフリカ諸国によって結成された地域統合組織の名称を答えなさい。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. アフリカ連合 (AU)
 2. 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 3. アジア太平洋経済協力 (APEC)
 4. 欧州連合 (EU)
- 問3 アフリカ大陸北端などの温帯地域に見られる、夏に乾燥し、冬に一定の降水がある気候区分を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 砂漠気候
 2. サバナ気候
 3. 西岸海洋性気候
 4. 地中海性気候
- 問4 アフリカの食料問題において、米の生産量が増加傾向にあるにもかかわらず、域外からの輸入依存が解消されず、むしろ需給の差が拡大すると予測されている主な背景は何ですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. すべてのアフリカ諸国がモノカルチャー経済から脱却し、農業を放棄して工業化に特化したため。
 2. 米の国際価格が大幅に下落しており、域内で生産するよりも輸入する方が経済的負担が少ないため。
 3. 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。
 4. 気候変動の影響によって米の栽培が完全に不可能になり、主食をすべて小麦に切り替えているため。
- 問5 アフリカ州において、人口が急激に増加し続けている「人口爆発」と呼ばれる現象が起きている主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. 少子高齢化対策として、各国政府が多額の出産助成金を支給したため
 2. 広大な砂漠地帯の緑化が進み、居住可能面積が大幅に拡大したため
 3. 医療の普及や公衆衛生の改善により、死亡率が低下したため
 4. 経済発展に伴い、先進工業国からの労働移民が急増したため
- 問6 2000年から2010年にかけてのアフリカ州では、人口増加率が約27.6%と他の地域に比べて非常に高い数値を示しています。この人口の変化が土地利用に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 人口増加による労働力不足を解消するため、機械化による大規模農業が普及し、不要になった森林をすべて牧草地へと変えた。
 2. 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。
 3. 急速な工業化が進んだことで、工場用地や都市を整備するために森林が伐採され、農地も工業団地へと作り替えられた。
 4. 砂漠化の進行によって居住に適さない土地が増えたため、残された森林を保護し、限られた農地を都市部へと転換した。
- 問7 レアメタルを確保するために、近年日本などの消費国において「都市鉱山」からのリサイクルが推進されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 採掘にかかる費用が他の金属に比べて非常に安く、リサイクルよりも新品を作る方が効率が悪いから
 2. 埋蔵量が非常に少なく産出地が偏っているため、安定した供給を確保し環境負荷を減らす必要があるから
 3. 埋蔵量が無限に存在するものの、地中深くから掘り出す技術がまだ世界中で開発されていないから
 4. 鉄やアルミニウムと比較して熱に弱く、一度製品に使用すると性質がすぐに変化してしまうから
- 問8 アフリカのナイジェリアなどでは、鉱産資源などの特定産品の輸出に国全体の経済が大きく依存しています。このように、輸出総額の大部分を特定の産品が占める経済や貿易の構造を何と呼びますか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. モノカルチャー経済
 2. 加工貿易
 3. 輸入代替産業
 4. ブランテーション農業
- 問9 世界の国々の産業を比較した統計において、カナダ、エジプト、ニュージーランドなどと比較した際、金鉱の産出量が年間180トンを超え突出して多く、かつ羊の飼育頭数も約2400万頭と非常に多い数値を示している、アフリカ大陸最南端に位置する国はどこですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. 南アフリカ共和国
 2. ニュージーランド
 3. エジプト
 4. カナダ
- 問10 アフリカ東部のケニアでは、経済発展に伴い日本向けの輸出品目にも変化が見られます。2004年に約2億5,000万本であった日本向けのバラの輸出量が、2011年には約19億8,000万本に達したという統計がある場合、この期間における日本向けのバラの輸出量の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 他国との競争により、2011年にかけて輸出量は横ばいで推移した
 2. 2004年から2011年にかけて、輸出量が約2倍に増加した
 3. 2004年から2011年にかけて、輸出量が約8倍に急増した
 4. 生産過剰により、2004年に比べて2011年の輸出量は減少した
- 問11 アフリカ大陸の地図を見ると、海岸線や地形に関わらず、定規で引いたような直線的な国境線が多く確認できます。このような国境線が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. アフリカ諸国が独立する際、国境を巡る紛争を避けるために、国際連合の主導によって最新の測量技術に基づいた直線が採用されたため。
 2. アフリカに眠る豊富な鉱産資源を、各国が平等に分配できるように、面積が等しくなるよう当時の植民地政府が計算して分割したため。
 3. サハラ砂漠などの広大な乾燥地帯において、目印となる河川や山脈が存在しなかったため、古来より先住民が星の位置を基準に境界を決めたため。
 4. かつての宗主国であるヨーロッパの国々が、現地の民族の分布を無視して、緯線や経線などを用いて人為的に境界を定めたため。
- 問12 ある国の貿易状況において、輸出額の約22%を茶が占め、次いで装飾用切花や野菜・果実といった農産物が上位に並ぶ一方で、輸入額では石油製品が約20%を占め、機械類や自動車などの工業製品が多くを占めています。このような、特定の農産物や鉱産資源などの一次産品を輸出し、工業製品を輸入する貿易の形態を何と呼びますか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 加工貿易
 2. モノカルチャー経済
 3. 水平分業
 4. 垂直分業

答え合わせ・解説

問1	答え 2 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。	植民地時代に、支配国である宗主国の需要を満たすために特定の農作物を大量に生産する仕組みが作られました。これを「モノカルチャー経済」と呼びます。独立後もこの構造から脱却できず、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えるという課題を抱えている地域が多くあります。
問2	答え 1 アフリカ連合（AU）	かつてのアフリカ統一機構（OAU）を発展的に解消する形で、2002年に発足しました。ヨーロッパのEUをモデルにしており、経済的な統合だけでなく、平和維持や貧困の撲滅など、アフリカが抱える共通の課題を地域全体で解決しようとする目的があります。特定の産品に依存するモノカルチャー経済は、国際価格の変動により国の財政が不安定になりやすいため、AUを通じた産業の多様化や相互協力が重視されています。
問3	答え 4 地中海性気候	アフリカ州の地中海沿岸で見られるこの気候は温帯に属しており、夏は亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響で乾燥し、冬は偏西風や前線の影響で雨が降るという、他の温帯気候にはない特徴を持っています。これに対し、サバナ気候は熱帯で雨季と乾季がある気候、砂漠気候は乾燥帯の気候です。
問4	答え 3 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。	アフリカ諸国では、急速な人口増加に加えて、都市部を中心に調理が簡便な米の需要が爆発的に高まっています。農業技術の改善によって生産量自体は伸びていますが、消費の増加スピードがそれを上回っているため、自給率が上がらずに輸入に頼らざるを得ない状況が生じています。これは「生産量」と「消費量」のバランスという視点から理解すべき重要な課題です。
問5	答え 3 医療の普及や公衆衛生の改善により、死亡率が低下したため	アフリカ地域では、以前は感染症や栄養不足などにより死亡率が高い傾向にありましたが、近年の医療技術の普及や公衆衛生の向上によって、特に乳幼児の死亡率が大幅に改善されました。高い出生率を維持したまま死亡率が低下したことが、急激な人口増加の直接的な要因となっています。
問6	答え 2 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	アフリカ州は世界的に見ても人口増加率が極めて高く、2000年代の10年間で約27.6%もの増加を記録しています。この急激な人口増加に対応するためには、人々の生活を支えるための食料を確保しなければなりません。そのため、もともとあった森林を切り拓いて耕作地へと作り替える「農地転用」が大規模に行われました。統計上も、森林面積の減少と農地面積の増加が顕著に現れており、これがアフリカにおける主要な環境問題の一つとなっています。工業化や砂漠化も地域的な課題ではありますが、この時期の広域的な土地利用の変化は、主に人口増加に伴う食料問題に起因しています。
問7	答え 2 埋蔵量が非常に少なく産出地が偏っているため、安定した供給を確保し環境負荷を減らす必要があるから	レアメタルは地球上の存在量が少ないだけでなく、特定の国からの輸入に頼っている場合が多いため、供給が不安定になりやすいというリスクがあります。そのため、廃棄された携帯電話や家電製品などに含まれる微量の金属を「資源」と見なし、回収して再利用する仕組み（都市鉱山）の重要性が高まっています。
問8	答え 1 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の生産と輸出に極度に依存する経済構造をモノカルチャー経済と呼びます。国際価格の動向に左右されやすい特徴があります。
問9	答え 1 南アフリカ共和国	アフリカ大陸の南端に位置する南アフリカ共和国は、金やブラチナ、クロムといった希少な鉱産資源が豊富に産出される世界有数の鉱業国です。また、広大な土地を利用した企業的な牧畜も盛んであり、羊などの飼育頭数が多いことも特徴です。行政上の首都はプレトリアに置かれています。
問10	答え 3 2004年から2011年にかけて、輸出量が約8倍に急増した	ケニアは赤道直下の高地に位置しており、一年を通じて気温が安定しているため、バラなどの花卉（かき）栽培に適しています。提供された統計数値を比較すると、2011年の輸出量（198万×1千万個）は2004年の輸出量（25万×1千万個）に対して約7.92倍となっており、短期間で「約8倍」という劇的な増加を遂げていることが読み取れます。
問11	答え 4 かつての宗主国であるヨーロッパの国々が、現地の民族の分布を無視して、緯線や経線などを用いて人為的に境界を定めたため。	19世紀後半、ヨーロッパの列強諸国によるアフリカ分割が進む中で、ベルリン会議などを通じて植民地の境界が定められました。この際、現地の文化や民族の居住範囲（民族の分布）はほとんど考慮されず、地図上での管理のしやすさから緯線や経線を利用した直線的な国境線が引かれました。この歴史的経緯は、独立後のアフリカ諸国において、同じ民族の分断や異なる民族間の対立など、深刻な紛争を引き起こす要因の一つとなりました。
問12	答え 2 モノカルチャー経済	かつての植民地支配などの歴史的背景から、特定の一次産品の生産と輸出に国の経済が依存している状態を指します。この構造は、天候不順による不作や、国際市場における一次産品の価格変動が、そのまま国全体の経済に大きな影響を及ぼすというリスクを抱えています。